

期間：2025年7月8日(火)～9月23日(火・祝)

※8/18(月)に一部展示替えを行います

なつやすみ所蔵企画 えともじ展 文字で読み解く美術の世界



島田章三 《博物館》

メナード美術館蔵

制作年：1981年 形質：油彩・コラージュ、カンヴァス
サイズ：130.4×162.0cm

※展覧会の会期、内容等が変更になることがあります。
※最新の情報はメナード美術館ホームページをご確認ください。

1968年に愛知県在外研究員として渡欧した画家・島田章三は、ピカソやブラックら、キュビズムの作品に触れました。この経験から、キュビズムを「日本人の言葉(造形)で翻訳」するとして、日常空間の中の人物像を幾何学的に捉え、「かたち」として油彩画表現を追求し続けました。

本作には、文字もまた組み込まれました。壺の横には「HEIAN」などの文字が記され、展示品の時代が示されています。女性が持つ書籍には実際に出版された画集の1ページがコラージュされ、「ART OF ASIA」と読むことができます。画中の文字から画題となる博物館の展示内容へと、想像が膨らむ作品です。

展覧会関連イベント「学芸員によるスライド・トーク」

葛飾応為《夜桜美人図》について当館学芸員が詳しく解説します。

日時：8/2(土) 14:00～(約30分) *開場・受付開始は13:30～
会場：アネックス(別館) 定員：30人(当日先着)

*会期中の入館券が必要 *その他のイベント情報はホームページで紹介

第10回

新たな
学校づくりに向けて

篠岡地区学校再編計画(案)について

問合せ 教育総務課 (☎ 39-5261)



詳しくはこちら▶

ID 48144

〈5/30開催〉

第2回篠岡地区の学校を考える会の様子

第1回会議で出された質問や意見に対する市の考え方を説明するとともに、「篠岡地区学校再編計画(案)」を公表しました。

各委員は学校区毎のグループに分かれ、学校再編に対する期待や計画案に対する疑問点などを協議しました。

この会の会議資料については、随時ホームページで公開しています。



会議で示した篠岡地区学校再編計画(案)の概要

児童生徒数の減少および学校施設の老朽化が進む中、篠岡地区の小中学校を適正規模に近づけるため、以下のような再編計画(案)を示しました。

今後、考える会の中だけでなく、児童生徒および保護者を対象にアンケート調査等を実施することにより、意見を伺いながら篠岡地区学校再編計画をまとめていく予定です。

再編案

第1期再編

現在の5小学校、3中学校を2小学校、2中学校に再編^{※1}し、再編時期は令和9年4月を予定しています。

※1…桃ヶ丘小、光ヶ丘小、桃陵中、光ヶ丘中の校舎を活用

第2期再編

第1期再編後の児童生徒数の減少状況等を勘案しながら、1小学校1中学校の体制とあわせて小中一貫校を現在の篠岡小学校、篠岡中学校の敷地内に新設することを検討します。